

◆第 二 部 出場者を囲んでのトークセッション
特別ゲスト
金田一秀穂 杏林大学外国語学部教授



©タカオカ邦彦

◆閉 会 式 挨拶 島田 丈 裕 外務省文化交流・海外広報課長
岩 佐 敬 昭 文化庁文化部国語課 課長
審査員 講 評 迫田久美子 審査員長
審査結果発表
閉 会 の 辞 北 橋 健 治 北九州市長

◇司 会 進 行 サヘル・ローズ
イラン出身。
8歳の時に日本に移住。
高校時代から芸能活動を始め、J-WAVEでラジオDJとしてデビュー。
現在は、情報番組のキャスター ほか、リポーター、バラエティ番組や
女優業など幅広く活躍中!



本大会の様子は、以下の通り放送される予定です。
7月14日(日)午後4時～5時 NHK Eテレで放送予定
(※放送日時が変更になる場合があります。)

外国人による日本語弁論大会のあゆみ

日本が国際社会の一員として積極的にその意義と責任を果たすためには、日本人一人一人が諸外国の文化・伝統に対する理解をもつと同時に、日本に対する外国人の理解を深めることに努力を傾注しなければなりません。

この大会は、多くの外国人が日本語を話すことにより日本人および日本に対する理解を深め、わが国との友好親善、相互理解に寄与することを目的として1960年より毎

年開催されています。39回(1998年)以降は、それまでの東京開催から、地方の国際交流活動の活性化に伴い地方都市における開催を継続しております。39回大会は岐阜市で、以降、福岡市、長崎市、上越市、大阪市、札幌市、高知市、米子市、下関市、泉佐野市、川崎市、函館市、新潟市、別府市で開催されました。今年は、北九州市のご協力のもと開催されることとなりました。

次回第55回大会のお知らせ

平成26年5月24日(土)に松江市にて開催を予定しております。詳細が決まりましたらホームページにてお知らせいたします。
(www.iec-nichibei.or.jp)

ご来場の皆様へ

本弁論大会には、会場にNHKからカメラ数台が設置され出場者だけでなく、会場内の様子も撮影いたします。後日、番組内で皆様のお姿が映ることもありますので事前にご了承下さい。
会場内での録音・録画・撮影は禁止です。携帯電話の電源をお切りください。

2013 The 54th International Speech Contest in Japanese

聞いてください、私たちが見た日本、感じた世界。

第54回 外国人による日本語弁論大会

— 北九州市制50周年記念 —

プログラム



日時 平成25年6月8日(土) 13時 開始(開場12時)

場所 北九州芸術劇場「大ホール」

〈主催〉

国際教育振興会 国際交流基金

〈共催〉

北九州市



〈後援〉

外務省／文化庁／北九州商工会議所／北九州国際交流協会／NHK／NHKエデュケーショナル／日本語教育学会

〈協賛〉

カルピス／キッコーマン／専門学校新聞社／にほんごの凡人社／リコージャパン／留学生新聞

〈地元企業〉

湖月堂／ごとう醤油／シャボン玉石けん／スピナ／タカギ／TOTO
西日本産業コンベンション協会／ホテルニュータガワ／安川電機／リーガロイヤルホテル小倉

◆開 会 式 開 会 の 辞 吉尾啓介 国際交流基金上級審議役
出場者紹介、審査員紹介、ルール説明、後援・協賛団体紹介

◆第 一 部 演題および出場者
第54回大会には、29カ国／地域、121名の応募があり、4月23日(火)に予選審査を行った結果、11カ国／地域、12名の方々が出場されることになりました。

1. 努力のタネ アレックス シャーフ



Mr. Alexander Carroll Scharf
アメリカ
米沢市役所 国際交流員

私は子供の時から日本文化と日本の大都市に興味を持っていました。米沢で暮らすようになってから、自分の日本に対しての見方が大きく変わり、田舎での生活の魅力に気付くようになりました。畑仕事を通して、米沢独特の雪菜や窪田茄子など伝統野菜に興味を持っています。新たに見つけた日本の田舎の魅力と私の経験を皆さんとシェアしたいと思っています。

2. 曖昧な表現 リン ブンゲン(林 文彦)



Mr. Lin Wen Yen
台湾
長崎外国語大学 大学生

趣味は写真を撮ることです。写真撮影で、毎日溜っているストレスが解消できますし、気分転換もできます。今、同時通訳の道を目指しています。今回、弁論大会に応募したのは、「挑戦」です。自分が学んできた日本語で言いたいこと感じたことを伝えられるかどうか、どのぐらいできるのかチャレンジしてみたいと思います。

3. ルバワトーミンカレー ジン モー ウィ



Ms. Zin Moe Wai
ミャンマー
東日本国際大学 大学生

私は2011年3月6日に来日しました。私にとって生まれて初めて経験した地震は、あの震災でした。あれから2年、復興の光が見え始めた福島県いわき市の東日本国際大学で日本語を勉強し、この4月からは経済を学んでいます。私の思いが女性のみなさんに伝えられれば嬉しいです。

4. どんな辛い状況でも、諦めちゃいけない アルトゥーロ トウヤマ ヒグチ



Mr. Arturo Toyama Higuchi
ペルー
沖縄県庁 国際交流員

ペルーで生まれ育った日系三世です。父方の祖父母は沖縄出身で、母方は大分出身です。幼いころから、日本に対して興味を持つようになり、2002年19歳の時日本語の勉強を本格的に始めました。そして、2005年から2006年にかけて、文部科学省から奨学金を受け、東京外国語大学で日本語と日本文化を勉強しました。一人でも多くの人々に、祖母の話を知ってもらいたく本大会に応募しました。

5. テレビは「バカ箱」じゃないです カン ランジュ(姜 蘭珠)



Ms. Kang Ran Ju
韓国
札幌市在住 主婦

2年前、夫の仕事のため日本に来ました。韓国では、中学校で英語を教えていました。来日して見ると、英語が通じなく、不安になり、日本語を勉強し始めました。テレビが日本語の勉強に役に立ちました。テレビを見て感じた日本や日本の文化について、日本語教室でたくさん話をしました。おかげで、日本での生活が楽しいものになりました。韓国にいる二人の娘の手本になるように、また、出場のため指導して下さった日本語教室の先生に感謝の心を込めて頑張ります。

6. 外国人の宣言 クジメンコ ボリス



Mr. Kuzmenko Boris
ロシア
東京外国語大学 大学生

ロシアで3番目の大きな市、ノボシビルスク市から去年9月に日本語・日本文化研修生として来日しました。一年間の留学ですが、友達、写真と思い出は一杯できました。もちろん、残った時間にもあらゆるイベントに活発に参加したいと思います。日本語を勉強し始める前に日本について何も知らなかった私ですが、今は日本と日本人が大好きです！自分一人では難しくて知っている人たち皆と日本とロシアの懸け橋になりたいと思います。

7. 気になる「気」 ワン アハマド ナザルディン ビン ワン アジザン



Mr. Wan Ahmad Nazaruddin Bin Wan Azizan
マレーシア
日置市役所 国際交流員

1997年にマレーシアの東方政策でマレーシア政府派遣留学生として来日しました。日本の大学を卒業後帰国し、日系企業に就職、結婚を経て、2008年に社会人として2回目の来日。大好きで興味深い日本を妻や子供に見せることができ、本当によかったと思います。春夏秋冬の食文化やお弁当の習慣に心を打たれました。この大会を通じて文化の違いに気付いていただければと思って応募しました。

8. 冷たい? 日本人 ゼンギン シェブネム



Ms. Zengin Sebnem
トルコ
大阪国際大学 大学生

3年間、国で日本語を勉強し、2012年9月に日本へ留学しました。日本については人から聞いて知っていたこともありましたが、14歳の時にトトロを見たのがきっかけで、いろいろ調べてみて、その印象は大きく変わりました。ですからトトロは私にとって、一期一会の出会いといえます。遠く離れている、愛するこの二つの国の人々が心を通いあわせ、お互いにもっと仲良くなれるように、両国の懸け橋になりたいです。

9. ありがとう カルジョ



Mr. Karjo
インドネシア
特別養護老人ホームもみじ苑 介護福祉士

2009年、日本・インドネシア経済連携協定を通じて介護福祉士候補者として来日しました。3年間に渡り、様々な方々が応援して下さいました。今年、介護福祉士国家試験に合格する事が出来ました。次の目標に向かって頑張っております。「今は転んでもいい、、、今のままでいい、、、ただ、夢を追いかけるときは諦めない限り、必ず結果は現れる、キツ」とこの言葉が毎日、私を励ましてくれます。

10. ホームレスに学んだ日本人の精神 レイラ ミユキ アンラク



Ms. Anraku Leila Miyuki
ブラジル
東京モード学園 専門学校生

私は日系三世です。ブラジルサンパウロ市から1時間くらいのスザノ市という非常に日系人が多い町で育ちました。5歳の時から日本語学校に通っていて、運動会に参加したり、書道やおりがみを習ったり、日本の漫画やアニメ映画を見たりしていたので、日本文化が大好きになりました。日本が祖先の由来であるという理由も含め日本に住んでみたいという夢もあり、去年の3月末に来日。学校では美容師になるため、カットやカラー、メイクなどの授業などがあります。毎日忙しいけど楽しいです。

11. 幸せな日本の子供 ガサン ランジェ(格桑 郎杰)



Mr. Gesang Langjie
中国
新潟産業大学 大学生

2009年の4月にチベットから、雪深い新潟県柏崎にやってきました。最初は苦戦した雪にも慣れ、今では雪かきも得意になりました。趣味はギターと絵を描くことです。本大会に応募したのは自分の日本語力を向上させたいと思ったこと、また、試したいと思ったからです。何よりも私のスピーチが人の心に影響を与え、テーマについて考えるきっかけになればうれしいです。

12. ご近所付き合い 塚本 メーガン



Ms. Meggan Victoria Tsukamoto
アメリカ
埼玉県在住 司会者・通訳・翻訳

大学時代に日本に留学し、そのまま就職活動をするために日本に残りました。それから15年、現在は普通の日本人主婦と同じように外に洗濯物を干し、自転車の前と後ろに子供を乗せて保育園の送り迎えをし、スーパーで鮭か秋刀魚どちらにするか悩む、そんな日々を過ごしています。子供が少し大きくなり、徐々に社会復帰ができ、司会、通訳、翻訳の仕事を引き受けています。日本語レベルを上げる機会を探し求め、この大会に出場しようと強く決心し、応募させていただきました。

◇特別審査員
審査員
(順不同、敬称略)

金田 一 秀穂
迫田 久美子
高城 壽雄
ステファニー ウェストン
野上 純一

杏林大学外国語学部教授
国立国語研究所 日本語教育研究・情報センター長、審査員長
公益財団法人北九州国際交流協会理事長(株式会社タカギ代表取締役社長)
福岡大学法学部教授(国際関係論)、在福岡アメリカ領事館前領事
NHK制作局第1制作センター 青少年教育番組部長